

番傘川柳本社

8月旬会 (61回水府忌)

日時 令和7年8月6日(水)
会場 たかつガーデン
出席 森 茂俊 71名
司会 西 美和子
呼名復唱 柴 田 桂子
記名清記

第61回水府忌は夜句会となりました。連日の猛暑の中、川柳塔社から沢山の方々が出席くださいました。有難うございました。台湾川柳会代表の朴青春さんに「台湾川柳会と私」という演題でお話をしていただきました。川柳との出会いや、会の発足当時の裏話、日本川柳協会との関わり、台湾川柳会の今後のご抱負などを、流暢な日本語で分かりやすく、楽しく話してくださいました。有難うございました。本日は交換選者として川柳塔の松

岡篤さんをお招きしました。「あいに江畑の選をまた関東・東北総局の下さいました。初出席は神戸市から敏森廣光さん、奈良市から播本英二さん、香芝市から山下じゅん子さん。皆さん、会を盛り上げてくださいました。引き続きのご参加をよろしくお願いいいたします。酷暑による新米不足懸念や物価高騰の波はまだまだ続くような心配です。残暑も厳しそうですが、涼やかな風を待ちたいと思います。

席題 抜き打ち 高杉 力選

だしぬけに大会選者これいかに
転勤先へ妻が突然やって来た
抜き打ちを狙いナマズは目を覚ます
朝一の電話嫌とは言えなくて
抜き打ちの戦争争が許さない
悪友の祝辞に冷汗が流れ
思春期の部屋急に開け腰抜かす
突然のミサイルなんてごめんだよ
酒少し残っているか朝検査
へそくりがばれるマルサがやって来た
抜き打ちで妻が財布をのぞき見る
さっさと脱ぎなさい尿検査致します
抜き打ちの殺し文句にメロメロに

小山恵美子
川端 一步
澤井 敏治
津田 照子
内藤 憲彦
正信寺尚邦
西出 楓楽
西上 遊二
物種 唯修
藤田 武人
穂山 常男
島田 握夢
松本 柊子

帰ったらいきなりケータイチェックされ
マルサ来てベンベンゲサも抜いてゆく
唐突に好き好き好きと言っなんて
金メダル剥奪されたドーピング
何があつた持ち物検査抜き打ちに
抜き打ちが成果出しますネズミ取り
平日の夜に転勤先へ妻
抜き打ちのテスト力の見せどころ
LINE受信また訃報かとスマホ取る
いきなりの指輪で愛を確かめる
朝帰り机にあった離縁状
裏金は抜き打ち検査やってほし
抜き打ちの関税率に波高し
抜き打ちで闘志試にくる病魔
抜き打ちの検査も恐くない仕事

中岡千代美
辻 肇
岩田 明子
藤田 武人
三好 聖水
鈴木 栄子
森 茂俊
松本 柊子
播本 英二
銭谷まきひろ
敏森 廣光
川端 一步
本田 智彦
下村 郁子
八木 幸彦

帰り道突然肩を抱くなんて
独裁者は氣ままいつでも抜きうちで
抜き打ちの一刀素手で受け流す
国境をふいに破ってきた戦車
近くまで来たとすっぴん覗かれる
根回しを済ませ抜き打ちお役人
抜き打ちの認知テストにまだ余裕
南海トラフお願いせめてアポ取って
抜き打ちに雑巾持った姑が来る
懐かしい田舎の友がひょいと来る
幸運は抜き打ちがいい夏ジャンボ
校門に風紀委員が立っている

山下じゅん子
北川ヤギエ
大西 将文
菱木 誠
片岡 加代
播本 英二
田中 薫
辻 肇
平井美智子
山藤 聖子
柴田 園江
高杉 力
桑原すゞ代 選

宿題 奇 跡 桑原すゞ代 選

水府恵美子出会えた奇跡走馬灯 原田 正士

数多の奇跡生きると神の思し召し
 生きている今が奇跡と思いたい
 億分の一が命につながった
 信ずればこそ鰯の頭蛇の皮
 もうあかんどろぞ神さま仏さま
 神風を信じて散った敗戦忌
 この人とこの世で添うている奇跡
 二度三度奇跡編み込む夫婦糸
 たこ焼きの蛸は竹輪になっている
 乗り過ぎた駅でドラマが動き出す
 遭遇した熊がお辞儀をして帰る
 百歳が野良仕事僕には奇跡
 生かされているって奇跡百日紅
 星の数いるのに君に出逢ってる
 無い袖を振れる奇跡を愛という
 骨髓移植赤の他人というドナー
 ひとときを生きて奇跡を抱きしめる
 胃袋に山椒魚がすんでいる
 奇跡だと言われ悔しい玉の汗
 諦めた苦勞にちさい花が咲く
 よくもまあ五十年もそばにいる
 スマホでは撮れない虹がホラあそこ
 八十年日本に戦無き奇跡
 奇跡だと言うは失礼この努力

柴田 桂子
 本田 智彦
 中岡千代美
 澤井 敏治
 津田 照子
 片岡 加代
 平井美智子
 田中美弥子
 西澤 知子
 井本 健治
 古川 洋子
 小川賀世子
 前中 知栄
 小川賀世子
 穂山 常男
 西 美和子
 菱木 誠
 西澤 知子
 大西 将文
 森 廣子
 成山きよし
 鈴木のりお
 正信寺尚邦
 津田 照子

私にカレンシが出来ました奇跡
 奇跡かなコロナ震災乗りきれた
 積んできた努力は言わぬカムバック
 原爆忌水府忌奇跡起き生きる
 その時は打出の小槌振るつもり
 人間に生まれたことを感謝する
 奇跡などあてにしていけない玉の汗
 目の前にあるのに気付かない奇跡
 出会うのは奇跡別れは必然に
 エアコンがなくても生きてきた昭和
 奇跡とは神の仕組んだ罠だろう
 ハプニングかもしれないねまだ生きる
 ヘリコプターいのちひとつを救い上げ
 奇跡などおこらずクチナシが枯れた
 今虹を見たこと君に逢えたこと

吉野 一心
 内藤 憲彦
 松本 柊子
 西 美和子
 岩田 明子
 播本 英二
 高杉 力
 前中 一晃
 田中 利一
 江畑 哲男
 西出 楓葉
 本田 智彦
 田中 新一
 片岡 加代
 桑原すゞ代
 前中 知栄 選
 平井美智子
 西澤 知子
 鈴木のりお
 菱木 誠
 森 茂俊
 前中 一晃
 柴田 桂子

炎帝が居座るあいだ死んだ振り
 窓際に座ると見える社の景色
 文庫本と座るしばらく別世界
 若造が上座にいるとめてている
 黙って座ればモーニングが出てきます
 もう懲りた力士がこける砂かぶり
 冤罪は座らせられぬ電気イス
 ちんまりの母の正座がなつかしい
 禅寺のクラス正座が得意です
 胸底に今も座っているあなた
 座禅して菩薩に半歩近くなる
 青春がまだ座っている純喫茶
 よつらしよで立ちどこいしよで座る
 座りたい少し狭いが捻じ込むか
 料亭の座敷も椅子と変わります
 黙とうはしましたご飯食べてます
 来賓の座席は祝儀持ってくる
 朝焼けの脇に希望が座ってる
 首の座りなど言いつつ赤ちゃんをあやし
 端居してかすかな虫の声を聞く
 暇そうなヤツがとなりに来て座る
 三角に座り瞑想するキャンプ
 緑陰に座れば蟬の息遣い
 いろっばいおんな座りの人魚姫

西出 楓葉
 八木 幸彦
 片岡 加代
 菱木 誠
 中岡千代美
 三好 聖水
 辻 肇
 片岡 加代
 柴田 園江
 古川 洋子
 正信寺尚邦
 西 美和子
 澤井 敏治
 吉野 一心
 北川ヤギエ
 森 廣子
 西田 育弘
 銭谷まさひろ
 島田 握夢
 岩田 明子
 高杉 力
 藤田 武人
 小川賀世子
 原田 正士

逃げられぬ椅子に座って策を練る

田中 新一

木のベンチ座れば童話ふってくる

小川賀世子

スマイルを来賓席は崩せない

江畑 哲男

万博にこっそり座る招き猫

銭谷まきひろ

居座った異常気象に難儀する

岩田 明子

食卓に瘦せたサンマの横座り

西 美和子

砂浜に座って海と風の声

山本さくら

キツネと狸座るとややこしい会議

西澤 知子

立秋へ座り直している手鞠

前中 知栄

宿題 恋

江畑 哲男 選

逢引きウフフ8月6日句会あと

原田 正士

40度負けず乙女は恋に生き

澤井 敏治

大阪の恋東京で捨てました

片岡 加代

カルピスの味はいまだに覚えてる

西上 遊二

女は愛嬌顔は二の次三の次

物種 唯修

可愛いのも色っぽいのも二刀流

鈴木のりお

アメリカに恋し失恋繰り返す

播本 英二

コーラのようにシワッと消えた僕の恋

敏森 廣光

何かしら胸のこころがあつうなる

成山きよし

恋なのか微熱がずっと下がらない

高杉 力

仕事より恋を選んで半世紀

田中 利一

美しい恋と言いたい片想い

大西 将文

恋らしい妙に反発してしまう

柴田 桂子

もう少し一緒にいたい恋かしら

鈴木 栄子

甘すぎるカレーどうやら夏の恋

銭谷まきひろ

向日葵のように見上げる熱い恋

鈴木のりお

恋なのか花の名前を訊いている

高杉 力

熱帯魚だけに初恋打ち明ける

三好 聖水

ラブレター返信切手入ってる

藤田 武人

赤とんぼ夕焼け空でランデブー

森 茂俊

恋をする塩分チャージするように

西 美和子

素っ気ない猫だ溺愛してるのに

岩田 明子

手話の恋時々笑う声がして

吉野 一心

告白をしない限りは片思い

山本さくら

ビートルズ聞くとび恋が疼きだす

田中 新一

じわじわと危険水位を越える恋

平井美智子

一目惚れ三日ばしかのようである

西澤 知子

このごろは恋の病にかからへん

下岡 昌美

この頃は恋の文字さえ辞書を引く

田中 薫

恋などはとうに忘れたいい夫婦

内藤 憲彦

書いただけ今も持ってるラブレター

津田 照子

一目見て弥勒菩薩に恋をする

西上 遊二

片思い不法侵入罪かしら

正信寺尚邦

恋の花ひとつ咲いているケアハウス

小川賀世子

恋のトラブル数多ありますケアハウス

敏森 博光

串揚げにしてやりました過去の恋

西 美和子

道ならぬ恋ほど濃くて癖になる

銭谷まきひろ

咲く恋散る恋もあった時計台

古川 洋子

恋までもファクトチェックをする時世

辻 肇

顔じゃない顔ではないと恋に堕ち

江畑 哲男

宿題 あいにく

松岡 篤 選

どうしよう鞭はあるのに飴がない

井本 健治

坂道を下りたところで取り締まり

西上 遊二

おあいにく外人さんで席埋まる

辻 肇

あいにくね息子警察官ですが

湯澤 孝扇

母の夢ばかりで父は出てこない

正信寺尚邦

靴のサイズ間違いました遠い道

津田 照子

予約はスマホあいにく私アナログ派

平賀 国和

飲み会か今日は車で来たもんで

北川ヤギエ

完売の札がむなしく揺れている

前中 知栄

会いたかったのに病魔に襲われる

中井 佳子

大勢を決してからホームラン

松本 柊子

ふところが寒いバーゲンふいに

岩田 明子

あいにくの雨に負けない傘を持つ

田中 新一

探し当てた店は本日定休日

田中 薫

父ですか父はこの春死にました

成山きよし

クラス会あいにく所用彼女来ぬ

倉 周三

間に合っていますお墓よりフォームも

江畑 哲男

夕焼けのきれいな宿で山側で

森 茂俊

年金はあした飲み会許されよ

岩田 明子

美辞麗句あいにく耳が遠いので 穂山 常男
 中元のビール届いた下戸の家 平井美智子
 男と女雨を逆手にネオン街 小山恵美子
 狙っても負債ばかりであしからず 小寺八重子
 米農家あいにくにも先見え 下岡 昌美
 せっかくの誘いあいにく検診日 鈴木 栄子
 ふところが夏バテ二次会はごめん 菱木 誠
 あいにくを付けてドタキャン正当化 藤田 武人
 雨おとこと雨おんな居たハイキング 西出 楓楽
 自転車旅あいにく雨天続きです 小上 元武
 水分補給自販機すべて赤ランプ 原田 正士
 どろぼうさん家はあいにく金がない 山下じゅん子
 A-1が貸すなと答え出しました 吉富ひろし
 すみません売り切れました備蓄米 柴田 園江
 急ぐので近道すれば工事中 油谷 克己
 介護した嫁に相続権が無い 片岡 加代
 絶頂のシーンに友の長電話 大西 将文
 詐欺電話相手刑事で運尽きる 辻 肇
 毛の無い人に当たった賞がドライヤー 敏森 博光
 妻のグチ始まるころに風呂が沸く 内藤 憲彦
 下手な詐欺うちは子供が居ないのに 松岡 篤

宿 題 痛 い 片岡 加代 選

四十度熱い言うより痛いです 正信寺尚邦

あの時に買うべきだった宝クジ 下林 正夫
 肩書が付いて始まる胃の痛み 江畑 哲男
 年だなあ診察券がまた増える 岩田 明子
 そこが痛いこが痛いと言う甘い 大堀 正明
 無理をして周りに合わせる 田中 新一
 痛み止めどうか増量この恋に 下村 郁子
 消費者も農家も痛い夏野菜 古川 洋子
 良心が痛みませんか統投は 内藤 憲彦
 男には陣痛我慢できるまい 西出 楓楽
 痛い目はすぐに忘れるバラの棘 高杉 力
 癒されぬ痛み抱えて原爆忌 下村 郁子
 関接の痛み幽体離脱する 阪本 秀子
 岡野工業医療へヒット無痛針 吉野 一心
 痛みより愛を感じる猫パンチ 井本 健治
 石つぶてより痛かったあの言葉 湯澤 孝扇
 尿酸値痛いところを突いてくる 井本 健治
 ひとり酒昔の傷が痛み出す 大西 将文
 老いて今向き合う八月の痛み 柴田 桂子
 胸奥が痛み続けるペットロス 鈴木 栄子
 子が果立ちまだまた疼く向こう脛 藤田 武人
 鈍痛が続くニュースはガザの飢餓 辻 肇
 何もせぬ痛み手足は動くのに 前中 知栄
 痛い目を何度見たって旨い酒 高杉 力
 痛点をそっと包んでくれた風 津田 照子

喜寿になり五体アチコチ病垂れ 正信寺尚邦
 チョコパフェぐらいで消え去った痛み 中岡千代美
 痛くても辛抱してた昭和の子 下林 正夫
 一点差痛いけれども負けは負け 森 廣子
 断捨離のマンガにへそくりがあった 藤田 武人
 ぽっかりと開いた穴からくる痛み 成山きよし
 頭痛とは無縁頭はいいのです 西澤 知子
 財布落した彼女の写真入っていた 森 茂俊
 さっきまで追い風でした毘でした 栃尾 奏子
 逝くまでは痛み消えない過去の傷 湯澤 孝扇
 餓死寸前子どもを見ると胸痛む 川端 良岩
 捨てるため拾った石が血でにじむ 稲葉 良岩
 深い傷は切られた夜に痛くなる 山本さくら
 痛いなあ落としたサイフ戻らない 田中美弥子
 痛み分けあなたの灰汁も抜けました 柴田 桂子
 痛いところ沢山あるが生きている 三好 聖水
 エアコンが二台同時に故障した 銭谷まさひろ
 たこ焼きに蛸が入っておりません 西澤 知子
 無為無策石破総理が痛すぎる 江畑 哲男
 処方箋に心の痛みどめが無い 片岡 加代